

出荷ピークは 11月25日ごろ

全国農業協同組合連合会
県本部(JA全農岐阜)は
9日、今年の富有柿の出荷
ピークは11月25日ごろにな
るとする予測を発表した。
酷暑の影響で収穫時期は年
々遅れる傾向にあるが、今
年の出荷ピークは昨年より
1週間以上早く、ほぼ平年
並みの時期となる見込み。
柿の収穫は果実の先端部
分「果頂部」の色づき具合
で判断するが、気温が高い
と着色が進まず出荷の遅れ
につながる。ピークは8、
9月の平均気温を基に予測
した。過去10年(2016

〜25年)の出荷ピークの平
均は11月28日。
出荷予測の発表は、近年
の出荷の遅れから市場関係
者や消費者への情報提供が
求められているとしてJA
全農岐阜が24年から始め

た。県本部園芸販売課の野
原浩平さんは「昨年より1
週間以上早く出荷できるだ
ろう。着果量はやや少なめ
だが、大玉傾向にある」な
どと説明した。

(織部俊太郎)